

2022年8月期 (2021年9月～2022年8月)

決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
東証スタンダード
証券コード：6668



2022年8月期連結業績

▶ 連結売上高 123億円（過去最高）

- 拡大する半導体需要を背景に売上が堅調に推移

▶ 連結営業利益 27億円（過去最高）

- 半導体・電子部品の需要ひっ迫、原材料高騰の影響を受けながらも、部材確保への注力、生産能力の拡大に努めたことにより大幅増益

連結業績概要

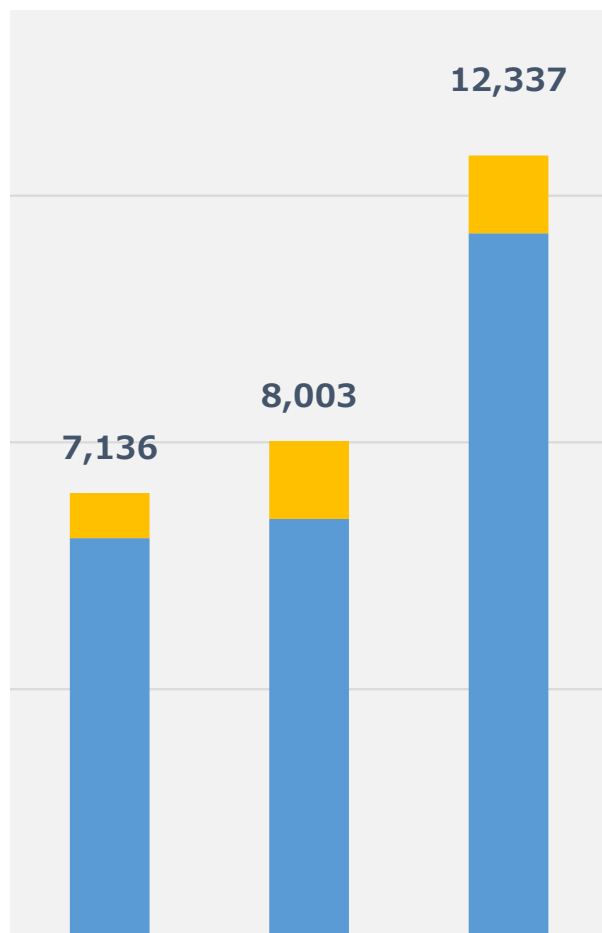
(単位：百万円)	21/8期実績	22/8期実績	前年同期比 (増減率)	予想比	
				22/8期予想	増減 (増減率)
売上高	8,003	12,337	4,334 (54.2%)	12,100	237 (2.0%)
売上総利益	3,157	5,399	2,241 (71.0%)	-	-
営業利益	1,102	2,735	1,633 (148.1%)	2,800	▲64 (▲2.3%)
経常利益	1,160	3,051	1,890 (162.9%)	3,000	51 (1.7%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	875	2,174	1,299 (148.5%)	2,100	74 (3.6%)

連結売上高・営業利益の推移



セグメント別売上高推移

(単位：百万円)



■ 半導体・液晶関連事業

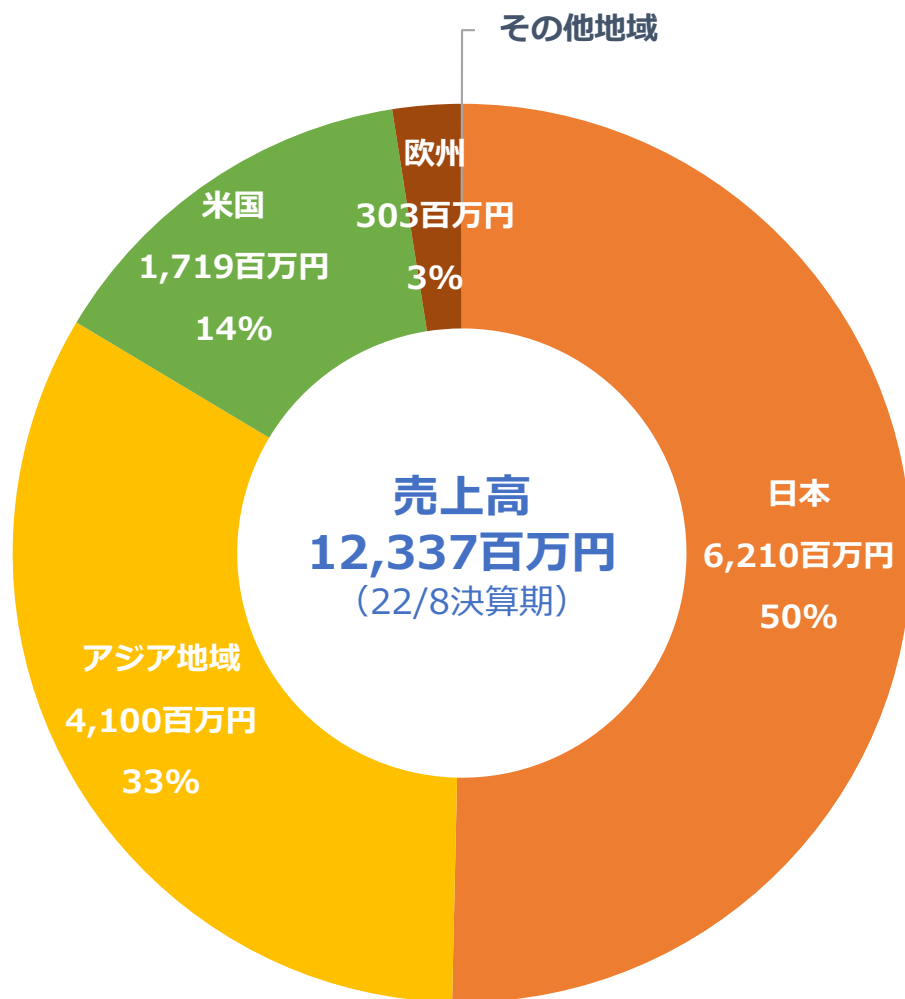
■ 研究機関・大学関連事業

(単位：百万円)		21/8期実績	22/8期実績	前年同期比 (増減率)
半導体・液晶 関連事業	売上高	6,760	11,388	4,628 (68.5%)
	営業利益	986	2,623	1,636 (166.0%)
研究機関・大 学関連事業	売上高	1,260	962	▲297 (▲23.6%)
	営業利益	70	38	▲31 (▲45.3%)
連結 損益計算書 計上額	売上高	8,003	12,337	4,334 (54.2%)
	営業利益	1,102	2,735	1,633 (148.1%)

※各セグメントの売上高及び営業利益は、セグメント間取引を含む

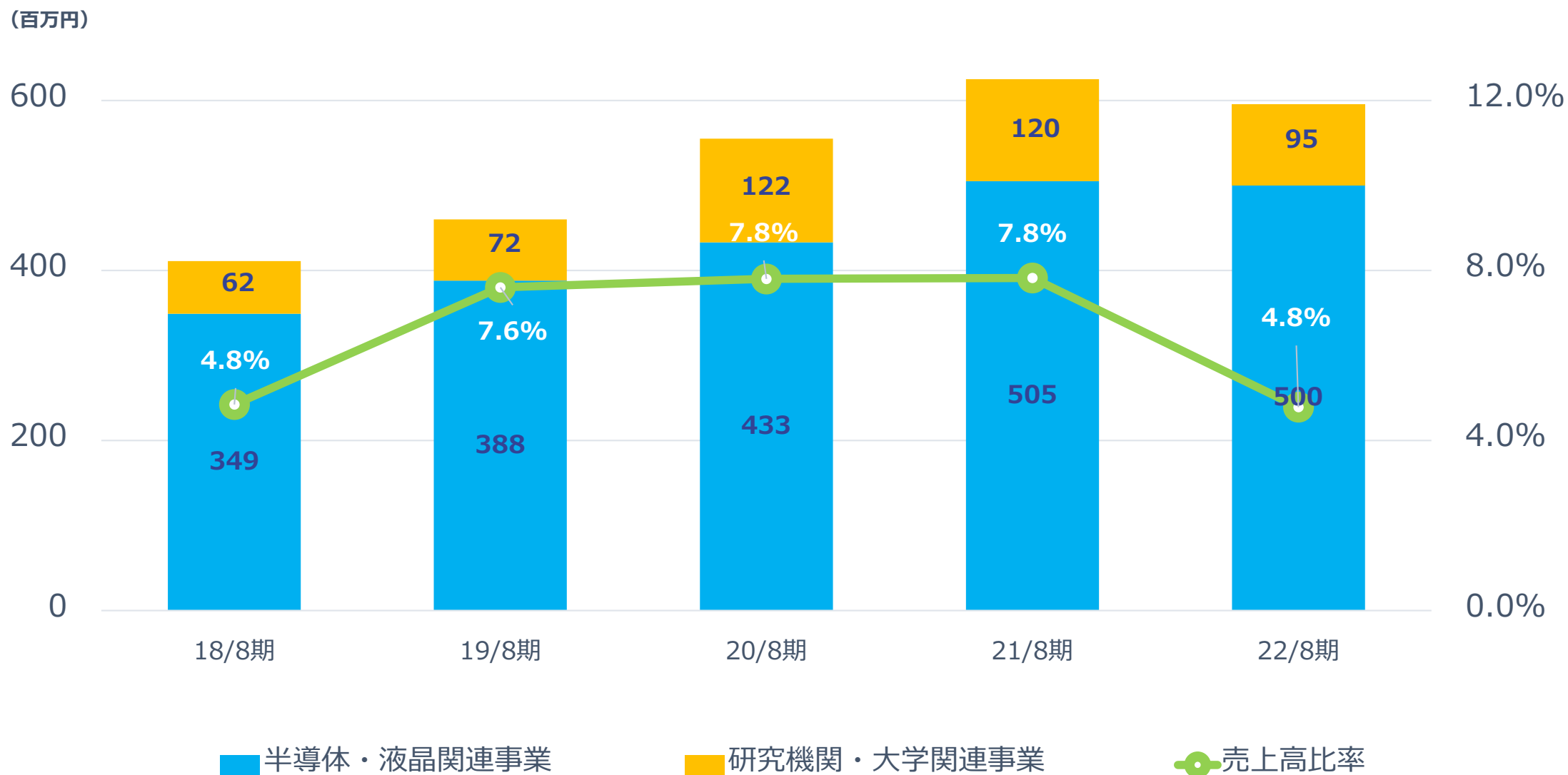
連結地域別売上高

地域別売上高



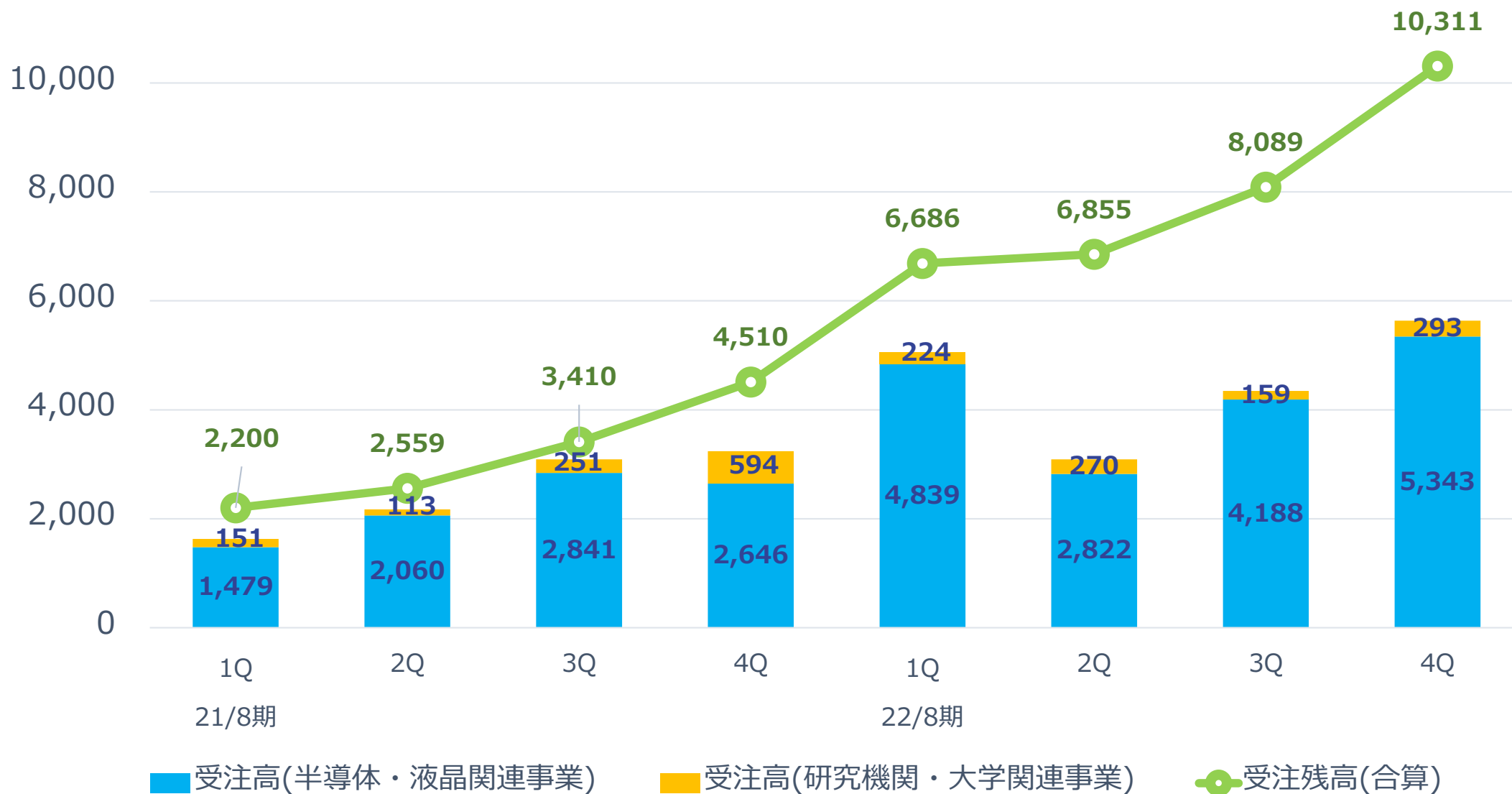
(単位：百万円)	22/8期実績	セグメント別内訳	
		半導体・液晶 関連事業	研究機関・大 学関連事業
日本	6,210	5,258	951
アジア地域	4,100	4,100	-
米国	1,719	1,719	-
欧州	303	303	-
その他地域	3	3	-
合計	12,337	11,385	951

セグメント別研究開発費推移

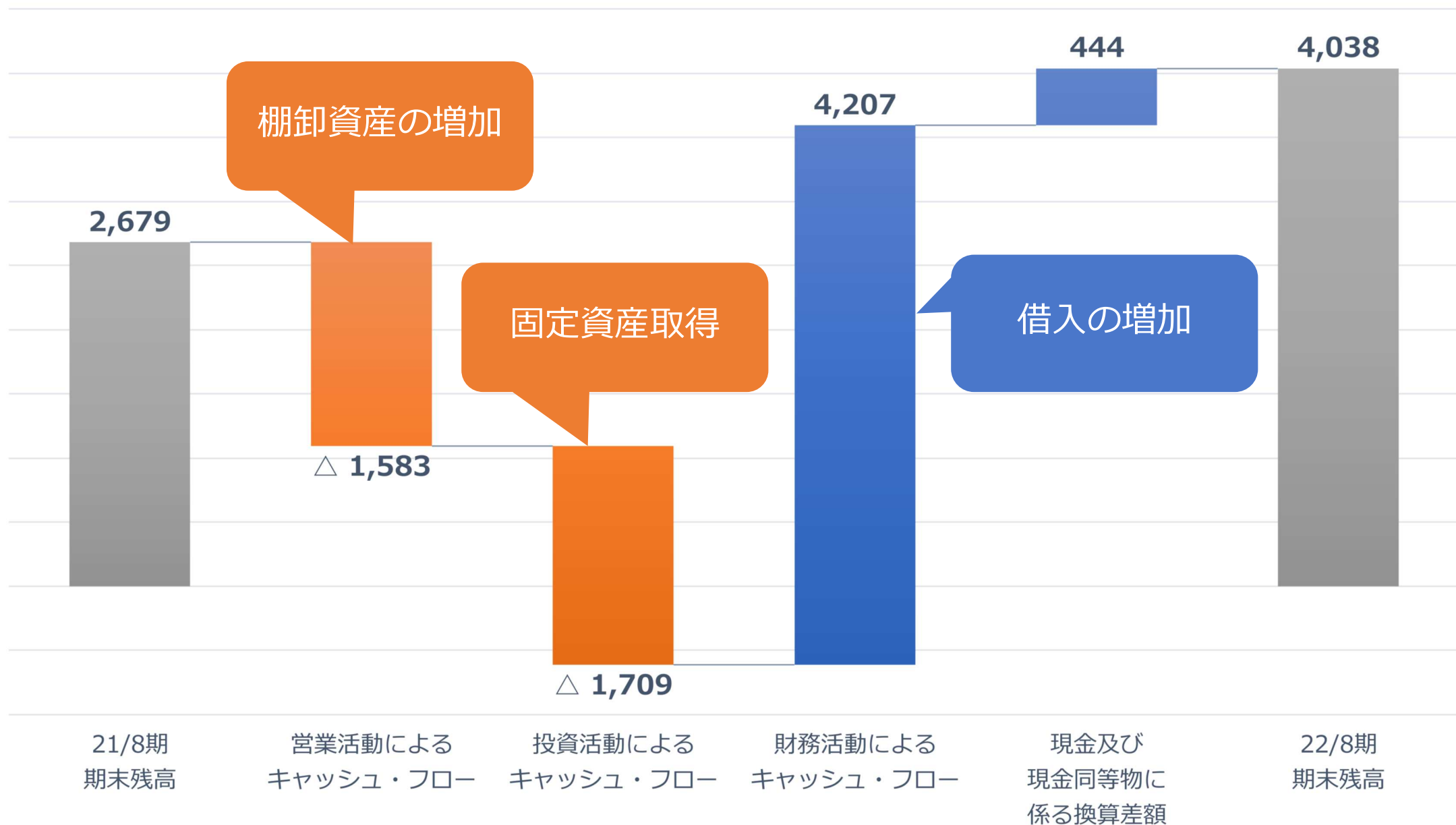


セグメント別受注高・受注残高推移

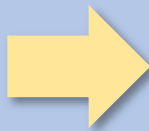
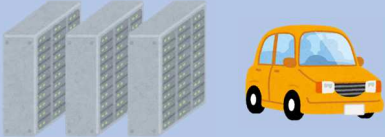
(百万円)



連結キャッシュ・フロー



2023年8月期 連結業績予想

業界		2022年 (7月～12月)	2023年 (1月～6月)	2023年 (7月～12月)	内容
半導体	メモリ 				スマホ・PC需要の低下、価格の下落、在庫調整、メモリメーカーの設備投資が延期等の状況を鑑みて、来年後半までは、調整期間になると予測。
	ロジック 				5G・スマホ・PC・AI・車載・データセンター他すべての製品に関して必要な半導体であり、今後も最先端以外の需要は顕著に続くと考えられる。ロジックメーカーの設備投資に関して今までのような増加は見込めないが、2022年同等規模で設備投資は行われると予測。
	イメージセンサ 				スマホ・PC需要が減るが、車載他で需要があり、大幅な在庫調整にはならないと予測。今後も2022年同等規模で設備投資が行われる見通し。
	車載半導体 				世界の自動車メーカーによる電気自動車の普及拡大、自然エネルギーの普及拡大は今後も続く予測され、それに伴いパワー半導体メーカーは設備投資を2022年以上に続けて行くと考えます。
光学系	スパッタ・蒸着 (有機EL・FPD含む) 				5Gなどのインフラ整備、顔認証、防犯カメラ、スマホ用レンズ、AR・VR・MR需要拡大による蒸着設備は、今後も拡大傾向。しかし、PVD(スパッタ)装置に関しては、スマホ・PC需要減の影響により、設備投資が延期になっており、2023年後半からの回復を予測。

連結業績予想

(単位：百万円)	22/8期 実績	23/8期 予想	増減 (増減率)	備考
売上高	12,337	14,800	2,462 (20.0%)	【半導体・液晶関連】 △ 米中貿易摩擦・規制、ロシア・ウクライナ問題、円安、インフレ他、外部環境が大きく変化する中でも、22/8期実績過去最高売上・利益となり、受注残も過去最高。23/8期予測に関しては前期のような受注増は見込めず、現状の受注残・今後の受注を加味しての売上・利益予測。 △ 世界各地からの新規装置案件の急激な増加に対応するための人件費、設計開発費、試験研究費の増加を見込む。 △ 今後2030年までの市場規模の拡大を考え、DX・GX強化、営業・サービス・生産等トータル体制の強化による経費増加。
営業利益	2,735	3,100	364 (13.3%)	
経常利益	3,051	3,200	148 (4.9%)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,174	2,250	75 (3.5%)	
1株当たり配当金 (年間) (円)	14	16	2	

【研究機関・大学関連】

続官新民

- ・ 世界全体の民間企業への直流・バイポーラ・マイクロ波電源、受注獲得強化。
- ・ 医療、研究機関向け加速器用電源市場の拡充。
- ・ 直流電源(バイポーラ含む)ラインナップの拡充。

《今後の取り組み》

- ・ 納期、価格面を考え、部品選択を増やし納期短縮・売上・利益を伸ばす。
- ・ 今後の半導体市場動向を加味した、生産キャパ拡大⇒生産キャパ1.5倍、コスト削減、納期短縮。
- ・ 新規装置案件獲得の為、設計キャパ拡大1.5倍を目指す。
- ・ 生産性の向上⇒ADTECグループ全体のシステム構築。
- ・ 中国、台湾、韓国の現地装置メーカーの新規装置案件獲得。売上2倍を目指す。
- ・ 資材部門の効率化⇒佐野事業所において自動倉庫稼働。
- ・ 今後の市場動向を見据えた新規製品の開発・計測技術製品の開発。
- ・ ベトナム第2工場稼働。今後3倍の生産キャパ。

連結売上高・営業利益の推移（通期）



トピックス

グループ連携の強化

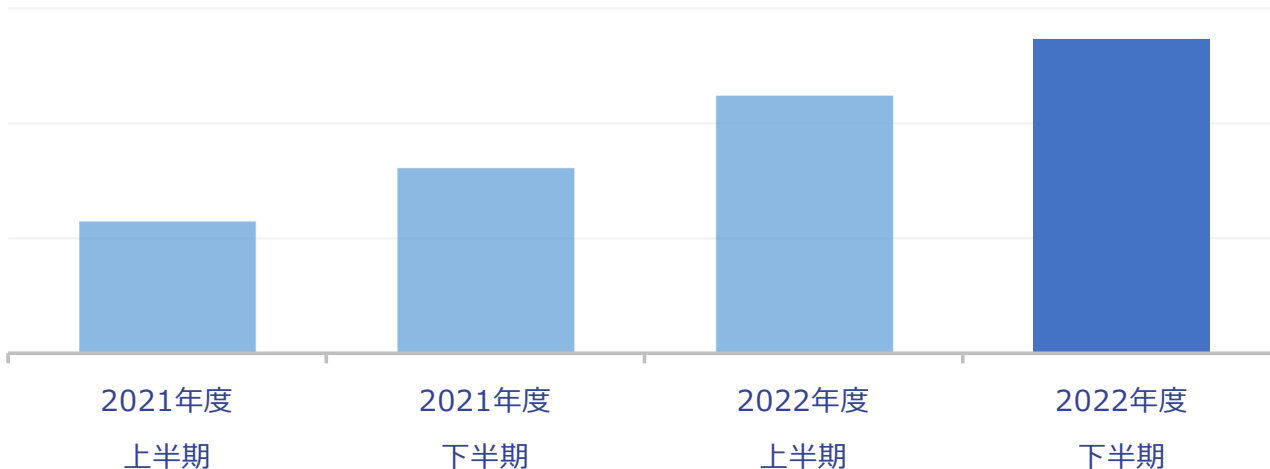
- アジアグループ会社の名称を統一。グループ会社間の連携をより一層強化し、ADTECグループとしてさらなる事業拡大を図る。



国	旧商号	新商号	事業
韓国 (2022年6月付)	Hana Technology Co., Ltd.	ADTEC Plasma Technology Korea Co.,Ltd.	生産・販売 サービス
台湾 (2022年8月付)	愛笛科技有限公司	ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.	販売 サービス
ベトナム (2022年9月付)	Phuc Son Technology Co., Ltd.	ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.	生産

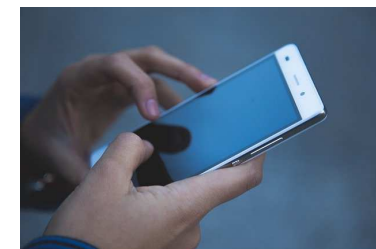
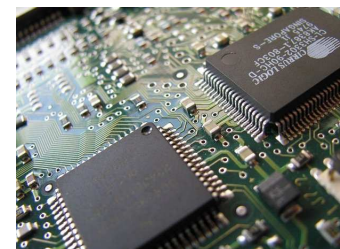
受注高の半期推移

- 2020年9月から2022年8月までの受注額(半期ベース)の推移
- 受注額は、単体ベース



2022年8月期における受注動向

市場の需要を取り込み、受注高は過去最高を記録した。半導体関連向けの製品が引き続き堅調に推移するとともに、光学関連向けの製品受注も増加傾向にある。



受注高の月別推移

- 2021年9月から2022年8月までの受注額の月別推移



半導体事業 地域別売上高推移

中国、台湾、韓国の世界半導体生産能力は過去2年から大きく成長。当地域への市場導入により売上高は好調に推移。

- 地域は、中国・台湾・韓国
- 売上高は、単体ベース

(百万円)

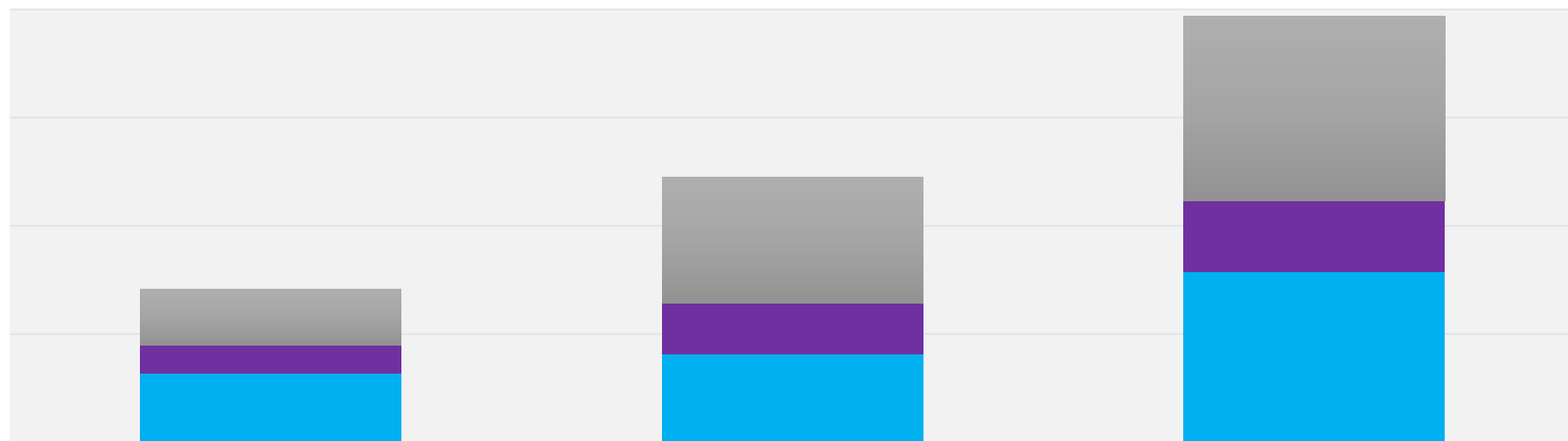
2,000

1,500

1,000

500

0



20/8期

21/8期

22/8期

■ 中国

316

406

789

■ 台湾

132

235

328

■ 韓国

260

583

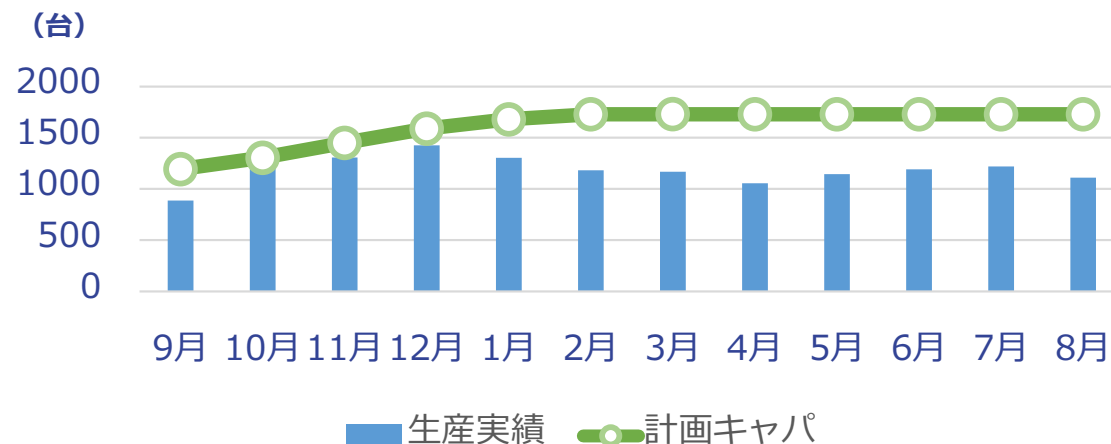
852

■ 今後の取組

佐野パーツセン
ター稼働

ベトナム
第2工場新設

通期 生産台数の推移



生産能力状況

各生産拠点において、順次、製造設備の増設や人員の増加等の生産体制を強化。グループの生産実績は8月末現在、ベトナム700台、韓国130台、佐野他280台。

部材調達環境

半導体部品の長納期化に対して、部材の確保等に注力。

今後の取組

- ・ 佐野パーツセンターの稼働
- ・ ベトナム第2工場新設

栃木県にある株式会社 I D X 敷地内に部材倉庫「佐野パーツセンター」を竣工。
自動倉庫を搬入後順次稼働予定。

《建屋概要》

建築面積：1,867.61m²

延床面積：2,609.96m²

階数：地上2階

1階自動倉庫エリア

2階事務室、応接室エリア



佐野パーツセンター外観

1階自動倉庫エリアの様子

シャトル倉庫▶

棚が動き作業者に届ける縦長形状の自動倉庫。棚に載せた物の高さをセンサーで検知し、自動で棚の間隔を最適化することによる超高密度収納が可能。



◀パレット倉庫

少量多品種の不定形な製品や部品を「コンテナ」「段ボールケース」「トレイ」などの単位で自動入庫、保管、自動出庫する自動倉庫。

グループの主要生産拠点第2工場の建設に向け起工式を開催。
最大限までラインを増強した場合には、ベトナム子会社の生産量が現在の約3倍となる見通し。

ベトナム本社・工場敷地内：設備投資予定額約20,000千米ドル
(2023年7月完了予定)



2022年9月 起工式の様子



第2工場建設後 全体完成予想イメージ

製品ラインナップ充実の取組



既存シリーズの製品開発

	スペック				スペック				スペック		
RFG	TXR	13.56MHz 2000W	量産機 開発中	MU	AMVS	60MHz 3000W	New	バイポーラ 電源	1000V 50A 20kW	開発中	
		13.56MHz 1000W	量産機 開発中			27.12MHz 1000W	New		1000V 25A 10kW	試作機 評価中	
	TXM	2MHz 1000W	New			12.5MHz 100W	New		1000V 20A 5kW	開発中	
		2MHz 2500W	試作機 開発中			13.56MHz 300W	New	ソース DC3A電源	1500V 3A 1000V 0.8A 5300W	量産機 開発中	
	TXH	60MHz 3000W	量産機 開発中			13.56MHz 5000W	New		マイクロ波 ソリッド 電源	2.45GHz 250W×2 500W	開発中
	TSX	13.56MHz 6000W	試作機 開発中			2MHz 1000W	New				



新シリーズ・省エネルギー対策の製品開発

RFG	新シリーズ：高速制御電源	CPUのVer.up 高速制御の実現 制御機能を高精度化し、出力安定度の向上
	省エネルギー：高効率電源	高効率により使用電力・水を抑えることが可能 AC-RF変換効率向上 半導体製造装置の消費電力低減を実現
MU	電子マッチャー	電圧で容量変化するため、物理的な動きがなく速度が速い

■ RFG=高周波電源 ■ MU = マッチングユニット

ご参考資料

会社	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
設立年月日	1985年1月
所在地	広島県福山市引野町五丁目 6 番10号
決算期	8月
資本金	835百万円（2022年8月末）
代表者	代表取締役社長 森下 秀法
従業員数	連結：515名（2022年8月末） 単体：172名
セグメント	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業
連結子会社	Adtec Technology, Inc.（米国） Adtec Europe Limited（英国） 株式会社IDX（栃木） ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.（ベトナム） ADTEC Plasma Technology Korea Co.,Ltd.（韓国） ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.（台湾） Suzhou Cuizhuo Dianzi Limited（中国） Adtec Healthcare Limited（英国）

半導体・液晶関連

半導体製造装置内でプラズマを発生させる高周波電源を主力製品とした関連製品の設計、製造、販売、サービスの提供

ユーザー

- 半導体製造装置メーカー
- 光学機器メーカー etc.

主力製品

- 高周波電源（RFG）
- マッチングユニット（MU）
- 計測機器

会社名

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
Adtec Technology, Inc.
Adtec Europe Limited
ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.
ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.
ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.
Suzhou Cuizhuo Dianzi Limited
Adtec Healthcare Limited

研究機関・大学関連

医療現場、国の研究機関等において使用される、治療装置や実験施設等の電源装置の設計、製造、販売
半導体・光学分野向け製品の開発

ユーザー

- 国の研究機関
- 大学及び大学病院
- 一般産業 etc.

主力製品

- 粒子加速器電磁石励磁用電源
- 直流電源
- マイクロ波応用機器
- 高電圧電源

会社名

株式会社IDX

アドテックグループの強み

▶顧客目線のきめ細かい技術サービス対応

日々進化する半導体製造装置に求められる高周波電源の開発の対応力
電源専門メーカーとして高度化する顧客開発ニーズへ柔軟に対応できる

▶電源に特化した経営を行う事により、電源開発に注力でき、市場を取り込む等の意思決定が早い

周波数の安定性を重視した、高耐久性の製品開発力
高周波電源の他、小型DC電源から大型キッカー電源、マイクロ波製品など多くのバリエーションを扱える

RFG・MUの使用工程例

(シリコンウエハー上に作られるICチップの前工程)

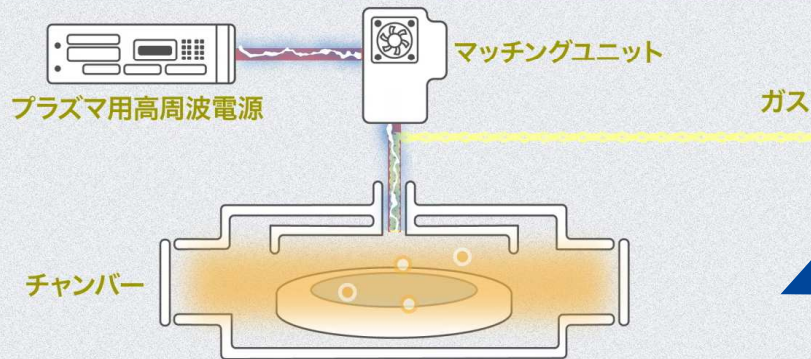


安定性
Stability



ドライプラズマ
プロセス

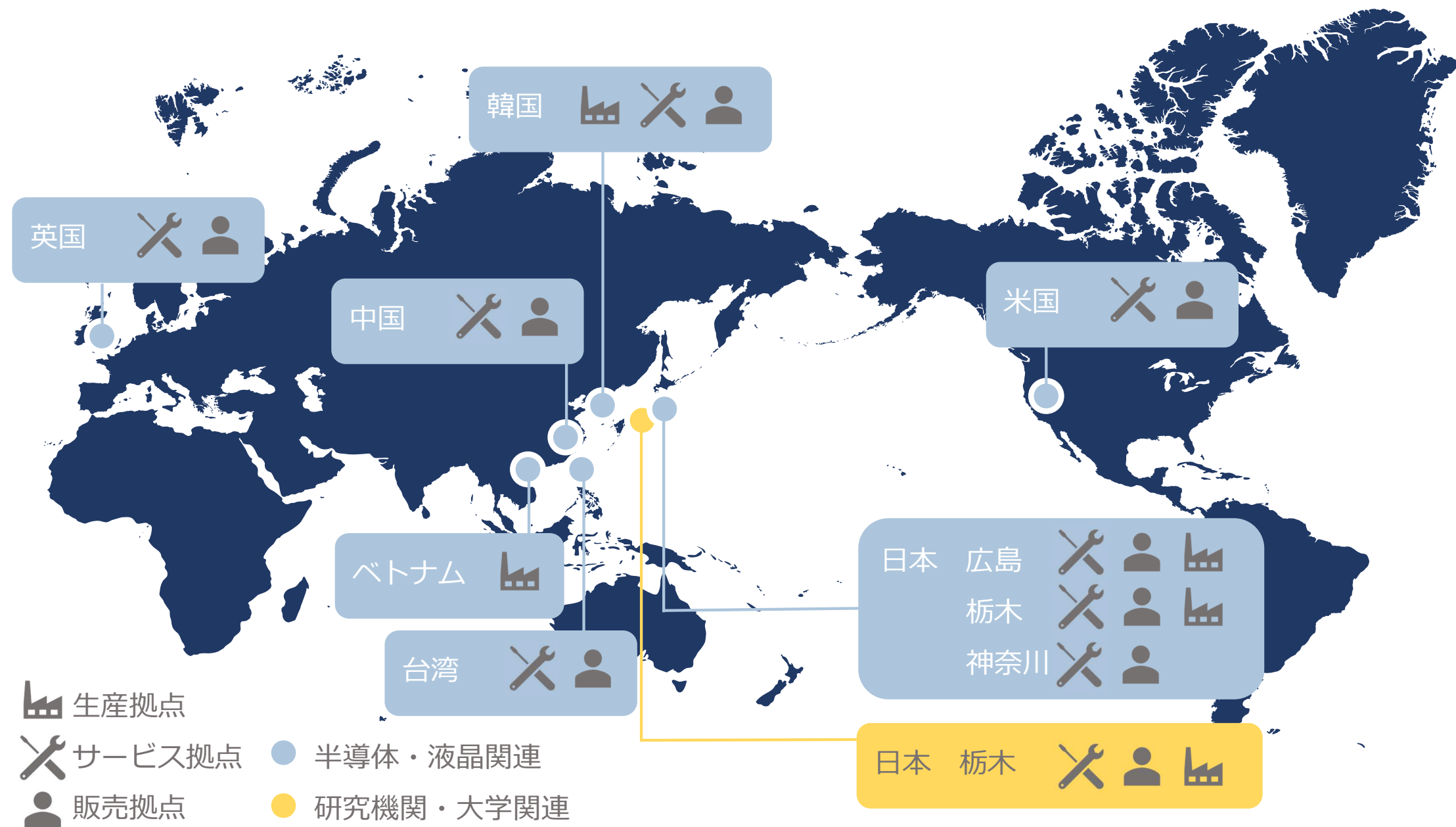
耐久性
Durability



- プラズマ高周波電源 = RFG
- マッチングユニット = MU

求められるのは
安定性と耐久性
に優れた
高性能な高周波電源

ICチップの性能を左右する重要なプロセスでは、
チャンバー内を常に**安定したプラズマ状態**にする必要がある



ご清聴ありがとうございました。

■将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて当社が判断したものであり、様々な不確定要因を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。